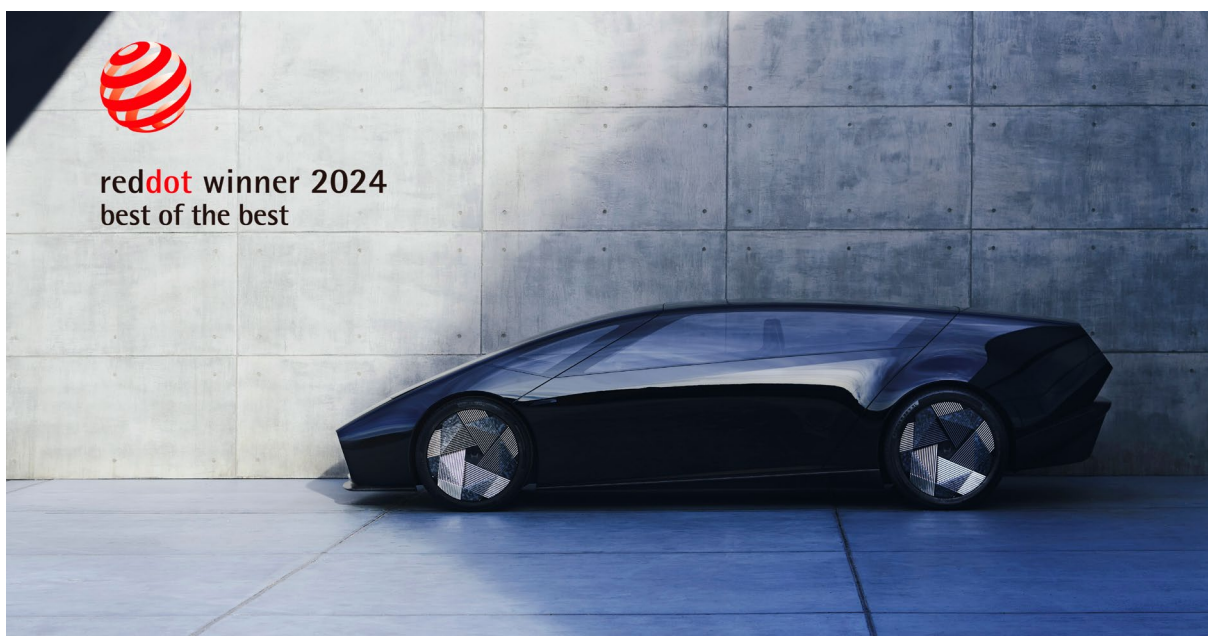


Honda 0 シリーズ「SALOON」が 2024 年レッド・ドット・デザイン賞： デザインコンセプト部門で最高賞「ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞

世界的に権威のあるデザイン賞の一つ「レッド・ドット・デザイン賞^{※1}」デザインコンセプト部門において、Honda 0 シリーズのフラッグシップコンセプトモデル「SALOON (サルーン)」が、ベスト・オブ・ザ・ベスト賞を受賞しました。また、同じく Honda 0 シリーズのコンセプトモデル「SPACE-HUB (スペース ハブ)」が同部門においてレッド・ドット賞を受賞しました。

■ Honda 0 シリーズ「SALOON」



Honda 0 シリーズは、グローバルブランドスローガンや電動化方針のもと大きく変革する Honda を象徴する EV シリーズとして、今年 1 月に米国で開催された CES 2024 で世界初公開されました。Honda 0 シリーズの中でも SALOON は、新たな EV の価値創造を目指す開発アプローチ「Thin, Light, and Wise (薄い、軽い、賢い)」を体現するフラッグシップコンセプトモデルです。

《デザインの特長》

エクステリアはワンモーションフォルムとロー＆ワイドなデザインを採用し、しなやかな躍動感を表現しました。サイドガラスを立てることで横方向への広がりを生み出すと同時に、サイドシルにかけて造形を絞り込むことでタイヤの存在感を際立たせています。インテリアはシンプルで直感的な操作が可能な HMI (ヒューマン・マシン・インターフェース) を採用し、洗練されたシームレスな UI (ユーザー・インターフェース) を実現しました。一目見て他との違いを感じさせる低全高でスポーティーなスタイルは、その魅惑的なデザインだけではなく、外観からは想像できないほどの広い室内空間も両立しています。

■ Honda 0 シリーズ「SPACE-HUB」



SPACE-HUB は、Honda の M・M 思想^{※2} と、将来実現したい空間価値のあり方を示すコンセプトモデルです。Thin, Light, and Wise の開発アプローチにより、広々とした空間と見晴らしの良い視界を実現し、「ユーザーの『やりたい』」に即座に応えるフレキシブルな空間を備える SPACE-HUB が、人と人、人と社会をつなぐハブとなり共鳴を生み出す」という思いを込めています。

《デザインの特長》

エクステリアは、Honda 0 シリーズ共通のデザインコンセプトである「The Art of Resonance (ジ アート オブ レゾナンス)」のもと、見る人に新しい視点と呼び覚ます、大胆でピュアなプロポーションを採用しました。インテリアは、SALOON 同様、シンプルで直感的な操作が可能な HMI を採用すると同時に、EV 時代の M・M 思想を突き詰め、圧倒的な空間の広さ、自由度・居住性の高さを実現しました。

【株式会社本田技術研究所 常務取締役 デザインセンター担当 南 俊叙のコメント】

「世界的に権威のあるレッド・ドット・デザイン賞において、今年 4 月に受賞を発表したプロダクトデザイン部門に続き、新たにデザインコンセプト部門を受賞できたことを大変喜ばしく思います。特に、ベスト・オブ・ザ・ベスト賞を受賞した SALOON は、大きく変革する Honda を象徴するモデルとして、「環境、社会、ユーザーとの共鳴」をテーマに、一目見ただけで他と異なる独創的なデザインを目指しました。今回の受賞は、デザインのみならず、Honda が提供する新たな価値を高く評価していただいた結果と受け止めています。今後も Honda は、人々の生活や暮らしに驚きと感動をもたらすモビリティを提供し続けていきます」

「Honda 0 シリーズ」ブランドサイト : <https://0.honda.jp/>

※1 レッド・ドットは 1955 年に設立された、世界的に最も権威あるデザインに関する賞の一つ。主催はドイツ・エッセンを拠点とするノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター。

※2 マン・マキシマム/メカ・ミニマム思想。人間のためのスペースは最大に、機械のためのスペースは最小限にして、クルマのスペース効率を高めようとする、Honda のクルマづくりの基本的な考え方